

授業概要 図書館基礎特論

図書館が対象とする資料が紙から電子へ変化していることへの理解を深めるため、大学図書館統計(ビッグデータの)分析し、歴史的・法的・技術的な視点からその変化を講義する。変化を分析する手法として Excel を利用する。また、発表のために PPT も活用する

授業計画

第 1 回	イントロダクション 図書館の種類と特徴 電子への取り組み 将来の図書館
第 2 回	図書館の統計分析(excel を利用) 大学図書館 公立図書館
第 3 回	分析結果の発表
第 4 回	紙から電子への変化
第 5 回	雑誌 電子ジャーナル
第 6 回	マスメジタイゼーション 電子書籍
第 7 回	法的な変化 著作権 図書館法 設置基準等
第 8 回	技術的な変化 1 流通一冊からメタデータへの変化
第 9 回	技術的な変化 2 電子・インターネットとシステムの変化
第 10 回	紙の図書館システムから電子の図書館システム
第 11 回	電子資料の安定的な流通の仕組み DOI リンクリソルバ ディスカバリー
第 12 回	運用の変化 予算 職員 目録 サービス
第 13 回	紙から電子への変化について 発表 1
第 14 回	紙から電子への変化について 発表 2
第 15 回	まとめ
第 16 回	筆記試験

到達目標

今の図書館の理解を深めてもらうため、紙から電子へ変化する図書館について理解することを目標とする。図書館員として職務につくための実践的な授業とするが、この内容は社会モデルの変化とも深い関係を持つため社会の変化についても講義する。発表能力の向上を目指す。

履修上の注意

司書課程科目の中では比較的独立性の高い科目内容であるが、基礎理解として「図書館概論」の履修を済ませていることが望まれる。簡単な Excel PPT を使えることが望ましい。講義中の発言や質問や話題提供など、積極的な参加を期待する。

予習・復習

授業までに都度配布する資料や論文を読み事前に作業を進める。毎時間、課題レポートを提出してもらう。授業中に終わられなかった課題は、次回までに行っておくこと。

評価方法

課題レポートと発表は(40%必須)、筆記試験(40%必須)とする。それに授業への貢献(議論への参加など)および自由提出のレポート(20%)を加えて評価する。

テキスト

その都度資料を配布する。